

it's awesome

## 心臓リハビリテーション室

矢野理学療法士が、2023年に行われた心臓リハビリテーション指導士試験に合格しました。当資格は、心臓リハビリテーションを通じた循環器疾患の治療、ならびに再発予防とQOL(生活の質)の向上を目的に発足された認定制度です。

また間藤心臓リハビリテーション専従看護師は、2023年10月に、広島にて開催された第77回国立病院総合医学会において「A病院で心臓リハビリテーションを受ける高齢患者の抑うつ評価と要因分析」のテーマで発表し、ベストポスター賞を受賞しました。

近年の報告で、心不全の患者様が気分の落ち込みといった抑うつ症状を合併すると、生命予後が悪くなると報告されています。当院にてリハビリテーションを行っている循環器疾患で入院中の患者様を対象に、抑うつ症状の合併頻度と患者さんの背景について報告しました。当院の心臓リハビリテーション室では、舩田総括診療部長を始めとする循環器内科医師と共に、日々の臨床業務や学術活動に取り組んでいます。

心臓リハビリテーション室では、COVID-19の感染拡大に伴い長らく中止をしていた外来リハビリテーションを昨年7月より再開しました。今後とも当院に通院・入院される患者様に、より良いリハビリテーションの提供ができるように努めて参ります。

理学療法士 矢野 歩



間藤看護師(左)と矢野理学療法士